

野尻のバラの名所を巡る ローズフェスタ 2017 開催

5月13日から21日にかけて、のじりローズフェスタが開催されました。萩の茶屋、のじりこびあ観光バラ園、のじりアグリサービス、大塚原バラ園の4箇所でバラの花束や農作物が当たるスタンプラリーを実施。期間中1080人が来場し、色鮮やかなバラを見ながら各施設を周遊しました。



色鮮やかなバラを眺める来場者。フェスタ最終日には、大塚原バラ園でハーブや物産を楽しむ大塚原バラ祭りも開催されました



参加者は出の山公園の草刈りやゴミ拾いに汗を流しました。まつり期間中の土日は、小林総合運動公園からシャトルバスを運行します

より近くでホタル見てほしい 出の山ボランティア清掃実施

5月20日から開催されるホタル恋まつりを前に、5月12日、出の山公園のボランティア清掃が行われました。市内企業、商工会議所や市観光協会などから約50人が参加。小林ほたるの会こぞのいさむの会長は、「まつり期間中は遊歩道が開放されるので、ぜひたくさんの人に見てほしい」と話していました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、細野地区

復活して10回目！「まきばの桜まつり」

県の一村一祭としても位置づけられている「まきばの桜まつり」。復活して今年10回目を迎え、3月25日に牧場演芸場で開催されました。

今年は例年に比べて開花が遅れ、さらにあいにくの雨の中での開催となりましたが、さまざまなステージイベントや夜桜花火で、足を運んで頂いた人々を魅了することができました。また、物産展「さ

くら市」では、地域住民も出店。区の役員も祭り運営に携わるなど、桜まつりを盛り上げました。

まつりに先駆け、3月19日には会場周辺の桜並木周辺の草刈り、ごみ拾い活動も実施。今年は満開の桜の中での開催はできませんでしたが、牧場の桜を地域の宝として守り続け、桜まつりも継続していきます。



桜まつりで花の苗木を配布する様子

桜まつりを含め、「これから地域住民が集える企画を計画していきます！」



地域づくり部会長
内村 文彦さん

全国和牛共進会の代表候補牛 小林から21頭が選出

5月2日、全国和牛能力共進会の代表候補牛を決める西諸地域代表牛決定検査会が小林地域家畜市場で開催されました。5つの出品区分に33頭が出品され、それぞれの月齢に応じた審査を実施。26頭が選出され、うち市から15件の農家、21頭が7月の県代表牛決定検査会への切符を手に入れました。



検査会に向けて入念に準備してきた出品者ら。9月の全国和牛能力共進会での宮崎牛3連覇が期待されています

畜産業発展を祈願し、 保食神社で馬頭観世音祭開催

5月8日、小林地域家畜市場内の保食神社で馬頭観世音祭が開催されました。畜産業関係者ら約160人が参加し、家畜の無病息災と発展を祈願。市畜産振興会連合会の折田巖理事長は、「畜産業は厳しい現状が続いていますが、みんなで協力して精進していきましょう」とあいさつしました。



馬頭観世音祭は、家畜の慰霊、五穀豊穡や家内安全を祈願するもの。市内の各地域でも、伝統行事として行われています



4月から新しく相談員になった内山さん。相談日は、毎月「くらしのカレンダー」に掲載しています（今月の相談日は27日を参照）

行政と住民のパイプ役 4人に行政相談委員を委嘱

4月から、内山民子さん（新任）、野田進一さん（再任）、堀之内敏朗さん（再任）、國武正廣さん（再任）が、行政相談委員に委嘱されました。相談員は、国や市などに対する要望・意見を住民から受け、問題解決の促進を図る行政と住民のパイプ役。相談は無料ですので、気軽に相談ください。

須木の自然を楽しむ すきむらんど滝まつり開催



ニジマス、コイやウナギのつかみ取りを楽しむ子どもたち。また、連体中、小野湖の絶景を楽しめるカヤックやSUPの体験なども行なわれました

5月6日、すきむらんど滝まつりが開催されました。市内外から1000人が来場し、春の山菜や特産品を販売する「山びこ市」、歌やダンスなどのステージイベント、金魚すくい、タケノコ輪投げや魚のつかみどりなどを実施。須木の自然の中、会場は多くの家族連れで賑わっていました。

教育プランの実現に向け 教育研究センター 20 人委嘱

5月19日、市教育研究センター研究員等に市内小・中学校の教員20人が委嘱されました。同センターは「0歳から100歳までの小林教育プラン」の具現化が目的。代表して西小林中の柚木山ゆきやま尚なほ未み主任研究員は「小林の未来を支える人材の育成に向け、研究に取り組みます」と誓いのことばを述べました。



誓いのことばを述べる柚木山主任研究員。「これから必要となる資質や能力を育むためのキャリア教育」をテーマに研究します



講演する宮阪所長。同講座は市社会福祉協議会が主催で、年7回実施予定。県内のさまざまな職業の現職やOBを招き行っていきます

日銀職員が仕事の魅力を説明 須木中生徒ら夢を膨らませる

5月18日、ドリーム・ジャンボ学園の職業講座が須木総合ふるさとセンターでありました。須木中の生徒が対象で、日本銀行宮崎事務所宮阪隆彦みやさかたかひこ所長が登壇。仕事の内容や魅力を説明し、「みなさんには無限の可能性がある。多様な価値観を大切にし、夢に向かってがんばってほしい」とエールを送りました。

自慢のメロン・マンゴーを 多くの人に味わってほしい

5月23日、第6回メロン・マンゴーフェアの開催に伴い、JAこばやしメロン部会と同マンゴー部会から宮崎ブランドの「めろめろメロン」と「太陽のタマゴ」が贈呈されました。メロン部会のおおづのまさひろ大角正廣部会長は「今年も出来は上々です。たくさんの人に味わって欲しい」と話していました。



左からマンゴー部会の松田泰一まつだたいち部会長、肥後市長と大角部会長。「今年は、例年より収穫量も多く、糖度も高い」と話していました



図書館開放は細野中学校でも実施しています。7月14日までの月曜、火曜、金曜の14時～16時30分に開放しています

学校図書室をもっと身近に 細野小図書室を地域に開放

5月21日、細野小学校で図書館開放イベントを開催しました。「子供も大人も学び合い育ち合う」教育体制を構築するのが目的。図書室の本の貸し出しや移動図書館車の展示、読み聞かせグループによるお楽しみ会を実施し、地域住民は思い思いの本を手にとって読み入っていました。